

# 平成 28（2016）年さけます来遊状況（第 6 報：1/31 現在）

## 3 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 1 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、全国、北海道、本州太平洋側では 5 年魚（2011 年級）は前年を上回るが、4 年魚（2012 年級）は前年を下回り、1994 年以降では最も少ない
- 本州日本海側については、各年級で前年及び平年\*1 を下回る
- 北海道のサケの平均重量は 3.38kg で、前年同期の 99%、本州のサケの平均重量は 2.96kg で、前年同期の 96%
- 北海道の主要河川に回帰した 4 年魚の平均尾叉長は、前年と比べ、同程度かやや小さい

\*1：平年とは、平成 6（1994）～平成 27（2015）年の平均値

### ・サケの年齢組成 （全国）

全国の主要な河川に回帰したサケの年齢査定をもとに、1 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、5 年魚（2011 年級）が全体の 49%を占めて最も多く、4 年魚（2012 年級）及び 3 年魚（2013 年級）がそれぞれ 45%、4%でそれに続きます。5 年魚は前年同期の 150%と前年を上回っていますが、4 年魚は前年同期 48%と減少しています。平年同期との比較では、それぞれ 72%と 42%となっており、4 年魚は 1994 年以降で最も少ない状況です。また、3 年魚は前年同期の 48%、平年同期の 36%となっています（図 1）。

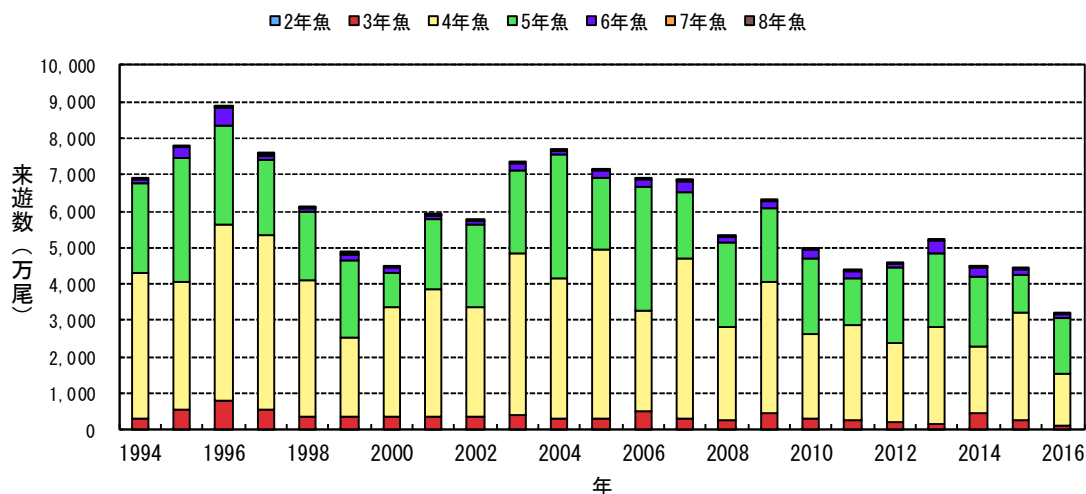


図 1. 1 月末時点のサケ年齢別来遊数（全国）.

(北海道)

5年魚(2011年級)が全体の52%を占めて最も多く、4年魚(2012年級)及び3年魚(2013年級)がそれぞれ43%、3%を占めました。5年魚は前年同期の148%、平年同期の78%、4年魚は前年同期の45%、平年同期の43%となっており、4年魚は1994年以降で最も少なくなりました。また、3年魚は前年同期の46%、平年同期の36%となりました(図2)。

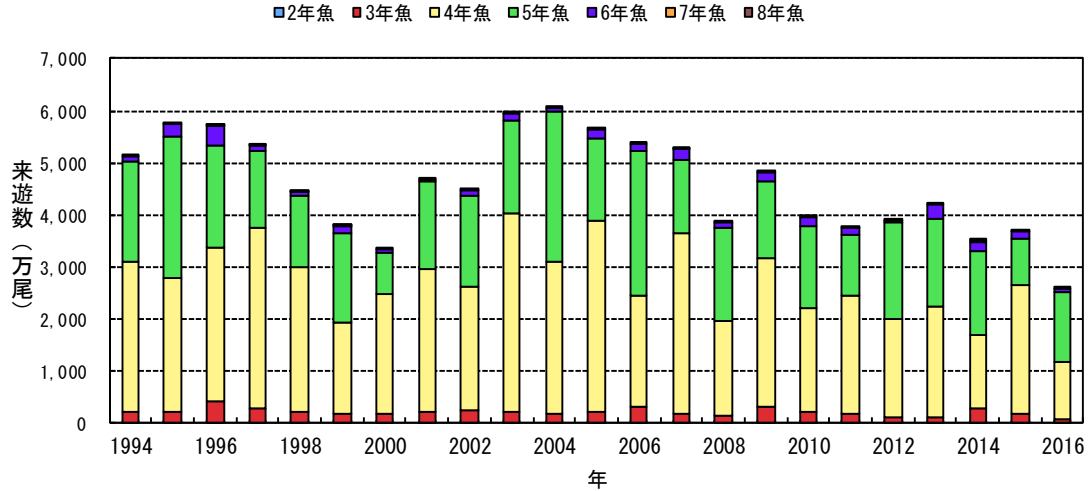


図2. 1月末時点のサケ年齢別来遊数(北海道).

年級群(生まれ年)ごとの来遊数をみると、今年の5年魚である2011年級は、5年魚までの来遊数(2~5年魚の来遊数)で比べた場合、1992年級以降の平均の92%と平均をやや下回る水準となりました(図3)。一方4年魚である2012年級は、4年魚までの来遊数(2~4年魚の来遊数)でみると、1992年級以降では最も少なくなりました(図3)。

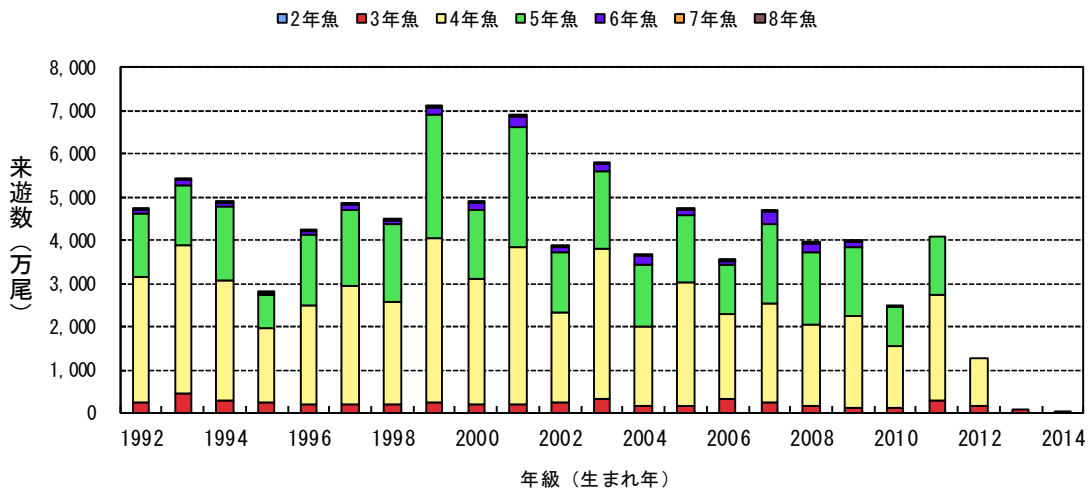


図3. 1月末時点のサケ年級群(生まれ年)別来遊数(北海道).

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、5年魚が前年同期の127%、平年同期の64%の水準でしたが、4年魚は前年同期の40%、平年同期の33%と1994年以降では最も少なくなりました。また、3年魚は前年同期30%、平年同期の23%となりました（図4）。日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、5年魚は前年同期の171%、平年同期の96%の水準でしたが、4年魚は前年同期の49%、平年同期の56%と1994年以降では最も少なくなりました。また、3年魚は前年同期の63%、平年同期の51%となりました（図5）。両地域とも5年魚は前年を上回ったものの、4年魚は前年を大きく下回りました。

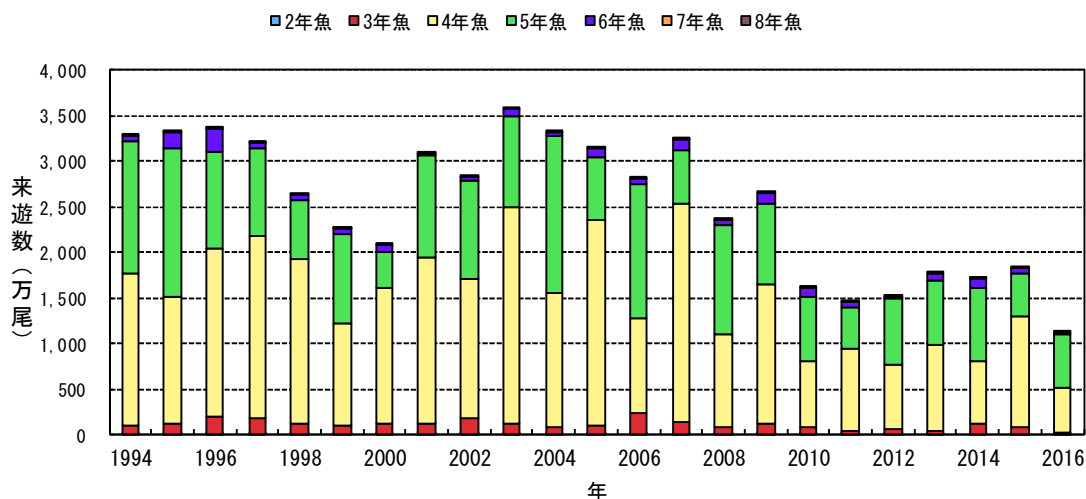


図4. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

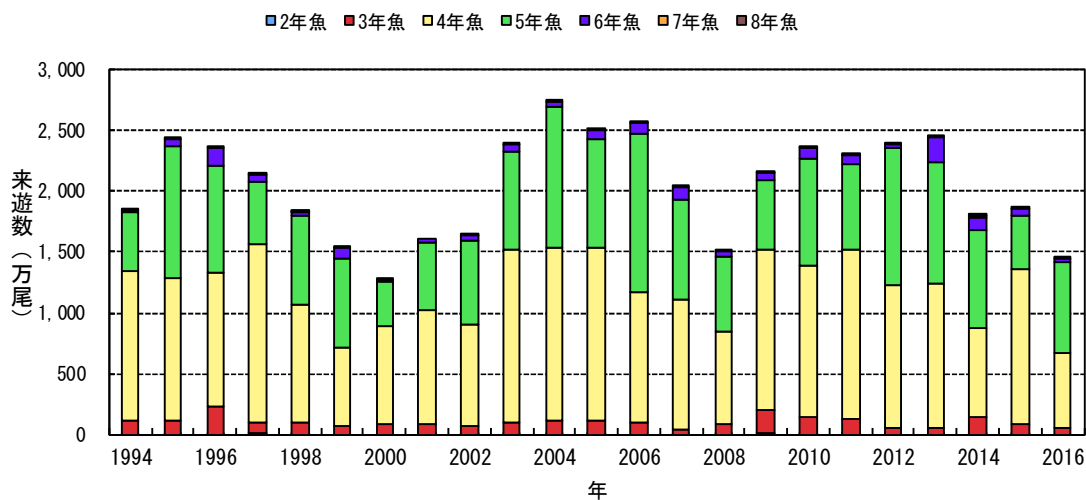


図5. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

(本州)

本州太平洋側では、4年魚（2012年級）が全体の53%を占めて最も多く、5年魚（2011年級）及び3年魚（2013年級）がそれぞれ37%、7%を占めました。5年魚は前年同期の189%、平年同期の46%、4年魚は前年同期の70%、平年同期の38%となっており、4年魚は1994年以降で最も少ない状況です。また、3年魚は前年同期の45%、平年同期の30%となっています（図6）。

なお、東日本大震災の影響により、2011年級（本年度の5年魚）以降の放流数がそれまでの水準より少なくなっています。

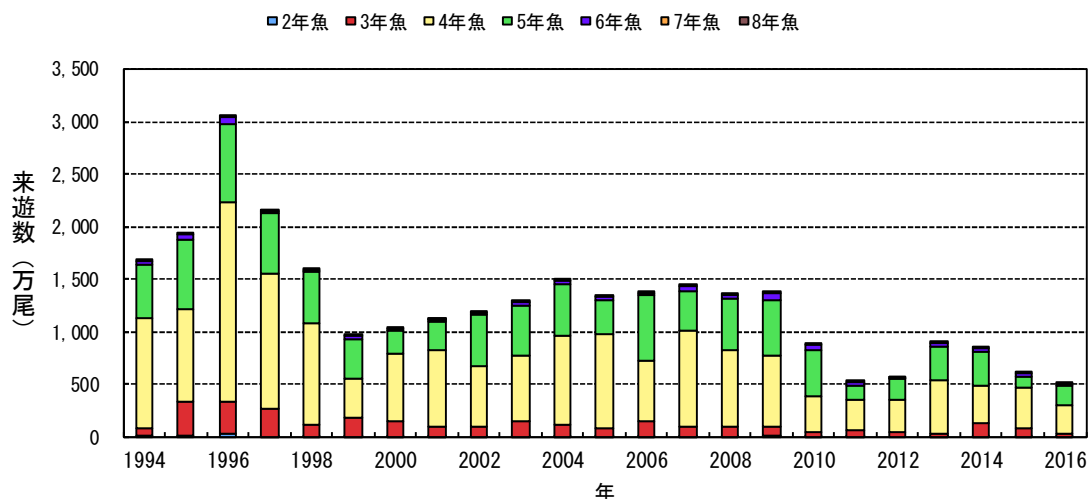


図6. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（本州太平洋）.

本州日本海側では、4年魚（2012年級）が全体の58%と最も多く、次に3年魚（2013年級）が22%を占め、5年魚（2011年級）が20%と続いています。4年魚は前年同期の45%、平年同期の75%、3年魚は前年同期の74%、平年同期の99%、5年魚は前年同期の59%、平年同期の75%となっており、各年級とも好調だった前年同期を大きく下回り、平年同期も下回っています。

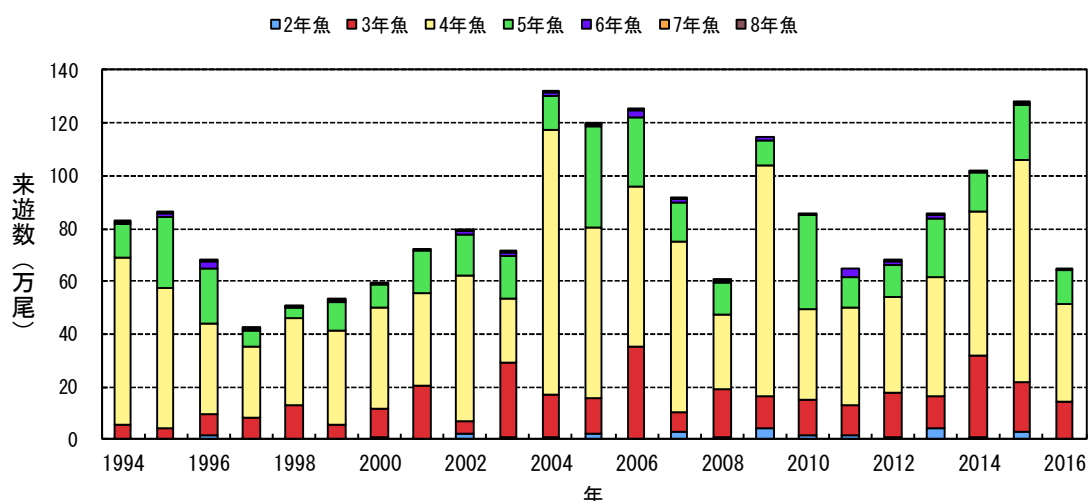


図7. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（本州日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における 2016 年度のサケ 1 尾当たりの平均重量(サケ漁獲数と漁獲重量から算出)は 3.38kg であり、これは前年度 (3.43kg) の 99%に相当します (図 8)。

また、本州の 1 月末現在のサケ 1 尾当たりの平均重量は 2.96kg であり、これは前年同期 (3.09kg) の 96%に当たります。

北海道の主要河川に回帰したサケ 4 年魚の平均尾叉長は、前年に比べ、同程度かやや小さくなりました。1989~2015 年の平均値と比較すると、日本海側の河川 (斜里川、石狩川) では若干上回っているのに対し、太平洋側 (西別川、十勝川、遊楽部川) ではやや下回っています (図 9)。

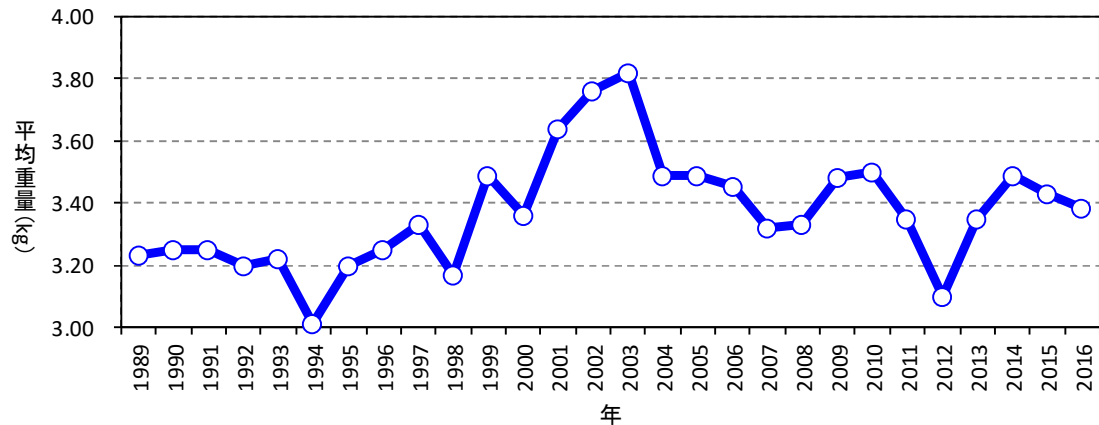


図 8. 1989~2016 年度のサケ平均重量 (北海道).

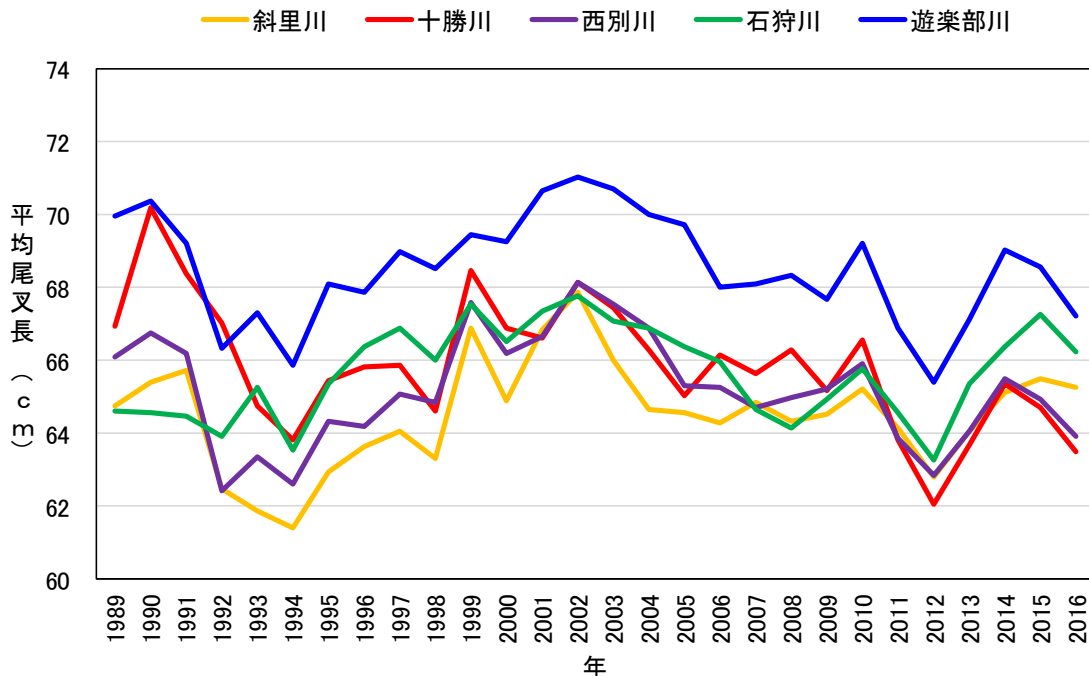


図 9. 北海道の主要河川におけるサケ 4 年魚 (雌雄込み) の平均尾叉長